



海老名市民生委員・児童委員だより

支え合う 住みよい社会 地域から

Vol.97

令和6年12月1日

ふれあい

発行
海老名市民生委員児童委員協議会
〒243-0492 海老名市勝瀬175番地の1
☎046-235-4820(福祉政策課)

海老名市内6つの地区の民児協（民生委員児童委員協議会）では、年齢も経験も違う
民生委員・児童委員、主任児童委員がそれぞれ活動しています。

民生委員・児童委員の活動紹介

民生委員を引き受けて

私は地域の自治会役員から推薦があり、民生委員・児童委員を引き受けることになりました。まだ2年目なので活動内容で分からない部分もありますが、一生懸命やらせていただいています。年齢42歳、現役で仕事もフルタイムでやっています。職場が住んでいる所と近いので種々の活動はやりやすく、幸い会社や上司の理解があり、定例会や各種研修などにもほぼ毎回参加し皆勤を目指しています。対象者の訪問活動や相談対応等は休日などを利用して行う等、工夫しています。

この活動をしていなければ知り得なかったことを勉強させてもらい、また施設見学などの研修で良い経験をさせていただいています。とにかくたくさんの人とめぐり逢い、知り合いになれば、朝夕のあいさつの機会が一段と多くなりました。そんな人間関係という財産が仕事にも良い影響を与えることは間違いありません。民生委員・児童委員の定員割れなどの問題がありますが、もっと現役世代が活躍できるように制度設計や広報活動を積極的に行うべきと考えております。

(西部地区 一期目) 林 晴久



西部地区研修会の様子

委員の任期は**1期3年**、次の一斉改選は令和7年12月です。
主任児童委員の活動の詳細は「ふれあい」94号をご参照ください。

みんせい

隣人愛を心に

「お困りごとはありませんか」、私たち民生委員・児童委員は市民の皆さまにいつもお声掛けをしています。「困りごとのない暮らし」が実現できれば嬉しいことです。皆さまが、日々笑顔で生きがいのある暮らしができる地域づくりが私たちの願いです。

私たち西部地区では、「高齢者世帯訪問」、「子育てサロン」などに力を入れて活動を行っています。地域包括支援センター、学校、自治会や地区社協と連携して、サロン活動、登下校、見守りなど、日常の活動に励んでいます。

特に西部地区は相模川に近い地域ですので、「災害の前の備え」としての活動にも力を入れています。

私たちの合言葉の一つは、「隣人愛」です。不登校、一人住まい、買い物など、「困りごと」は様々です。ご近所同士がお互いに助け合う地域づくりの手助けになることを願っています。お気軽にお声掛けください。



海老名市民生委員児童委員協議会
西部地区会長 榮 芳朗

ふれあい防災特集



知っていますかAED (その2)

海老名市では、前号で掲載した設置場所以外にも今年から大手コンビニエンスストア（ローソン、セブンイレブン）へ設置されるようになり、24時間いつでも使用できる場所が増えました。日本のAEDの普及率は国際的に見ても高いものですが、使用率の低さは課題です。その理由として挙げられるのは

- ・設置場所が分からなかった
- ・日本人の国民性（失敗への恐れ）
- ・女性への使用のためらい

等があります（9/16付朝日新聞を参考）。

「ショックが必要です」の音声
が流れたら傷病者から離れ
ショックを実行する



学校や地域の防災訓練の講習に参加しても時間が経てば忘れてしまうものですが繰り返し参加、経験することは自信へつな갑니다。

AEDには音声ガイダンスがあるので、落ち着いて臨めば難しいことはありません。

自分がいる場所の一番近くのAEDの設置場所をご存じですか。スマートフォンの海老名市公式LINEから設置場所を検索できるようになりました。



届けるだけでも救命への一助に。

広報委員会研修

「ふれあい防災特集」にちなんで、本年度の広報委員研修は海老名市消防本部の**普通救命講習I**に参加しました。胸



三角巾は万能!

骨圧迫やAEDを用いた心肺蘇生法の実習に加え、三角巾を使つての応急処置を体験しました。胸骨圧迫の押すポイント等を再確認でき、繰り返し学ぶことが大事だと実感しました。

今年は南海トラフ地震臨時情報の発表があり、巨大地震を身近に意識するようになりましたが、今回消防本部で講習を受けるにあたり、地震の備えとして大切なことも教えてもらいました。

簡易トイレの備え…東日本大震災のときも避難所である公共施設のトイレを大勢で使用するこになり、衛生状況が問題になりました。自宅にいても水道が使えないとき、水や食料とともに簡易トイレは必要です。

また私たち民生委員としては、特に**高齢者に関わる**ことで大事な点があるが質問しました。一点だけ挙げるならば、**寝室が安全に保たれているか、上から落下しそうな物はないか**、もう一度、普段見慣れた部屋を見渡してくださいとのことでした。

全国民生委員児童委員連合会会長からの永年勤続表彰 および神奈川県社会福祉協議会会長からの表彰（在任10年）

受賞された方	神守 千代さん	小野寺幸江さん	重松 緑さん	榮 芳朗さん	鈴木 和江さん
	比留川初子さん	小田川弘子さん	佐藤 隆治さん	古泉 政幸さん	樋口りり子さん
	田沼 幸子さん	田中 純子さん	金子 憲幸さん	大住 静さん	大島 千佳さん
	西村千鶴子さん	牛尾 君枝さん	石飛 宣夫さん	金子 幸枝さん	

編集後記

水、食料、簡易トイレ、電池…、非常時の備蓄には少し自信があったのですが、落ちてきた物でケガをしないように、そしてすぐ逃げられるように、部屋を片付けることも防災につながるようです。

まずはもう少し物を減らそう!と決心しました。何回目かしら。



お知らせ 地区の民生委員・児童委員が新たに選任されました

地区	氏名	電話	担当区域
東部	おさき 尾崎 勝明	232-8607	東柏ケ谷6丁目17～22
中部	ひる かわたみ お 比留川富男	231-4172	大谷北2丁目1～9、16～27

「ふれあい」点字版・音声版

文字が見えにくい方にお送りします。
(連絡先) 齊藤宏子 ☎046-233-8200

民児協のHPがQRコードから簡単に見られます。是非、アクセスしてください。





柏ヶ谷コミセンまつり
活動パネル展示、PR
活動（東部地区）

地域との交流



大塚ふるさとまつり
民生委員もお手伝い
（東部地区）



えびな市民まつりに参加
PR活動を行いました



各地区民児協で
毎月1回開催の
定例会の様子
（北部地区）

地域の皆さんの身近な相談相手として 民生委員・児童委員の活動

定例会



研修活動



国土交通省関東地方整備局にて
白杖と車椅子の体験（中央地区）

小学校との交流



「むかしあそびの会」
杉久保小学校区にあたる中部地区
と南部地区の民生委員が参加しま
した（中部・南部地区）



「児童虐待防止月間」
のあいさつ運動
（北部地区）

高齢者との交流



地区民児協主催で独居の方対象に
「お楽しみ会」を実施。舞踊の他、
健康づくり講座等、ともに楽しみ
ました（南部地区）



南原サロンにて七夕飾り
づくり（中央地区）

訪問活動



（南部地区）



（中部地区）



（中央地区）

関係団体との交流



小学校訪問では校長
先生を囲んで意見交
換しました
（西部地区）



民生委員・児童委員になって、感じたこと、今の思いを各地区より集めてみました。



地域や学校、各関係機関と関わる中で得た福祉サー
ビス情報や制度の知識が、委員活動だけでなく自身の
生活にも役立っています。また多くの方々との新たな
出会いも貴重な体験です。
しかし、各々の委員が多様な考えを持っているので、
個々を尊重しながらどう楽しく活動できるか、研修や
事前準備等も多いので、自分の時間をどう活動に使い
生活するかに難しさを感じています。

（南部地区 四期目）

民生委員になって良かったことは、多くの方に出会
い、いろいろなお話を聞かせていただけたことです。
慣れない私を受け入れ、優しい言葉をかけてくださる
方が多く、感謝しかありません。「もうすぐ来てくれ
る頃だと思っていた」と言っていたと、本当にうれ
しいです。皆さんのお人柄やお話から学ばせていた
だくことがとても多く、今までにない経験をさせてい
ただいています。

（東部地区 一期目）

詳しい活動もわからず引き受けた民生委員も、一年
二年過ぎると徐々に「つなぐ」「見守る」という意味
も理解できるようになりました。何といても地域の
方からの声掛けは嬉しいことです。民生委員に携わったこ
とで今まで知らなかったことの研修や体験ができ、自
分のこれからの人生も変わっていくと思います。多く
の素晴らしい仲間に出会え、今までの月日を振り返っ
てみると、スタート時の不安より「引き受けて良かつ
た」と思うことが大きく大きくなっているような気が
します。

（中央地区 二期目）

民生委員になる前は、正直なところ自分の地域の民
生委員が誰で、どのような活動をしているのか全く知
りませんでした。自分が活動するようになってみる
と、担当する見守り対象の方々とは知らない方ばかり。
それでも今ではたくさんの方々を知り合いになれまし
た。定例会や研修会で得た情報、介護や福祉の勉強で
得たことを、これからの活動に生かしていきたいで
す。

（中部地区 一期目）

民生委員になって良かったことは、会社をリタイア
した後に同じ目的を持って活動する仲間に出会えたこ
とであり、その活動で社会と関わるができること
である。
また民生委員になったことで、高齢者には世の中の
流れとは違う自分の人生の流れがあり、老いの速度が
すこぶる早いこと、その速度が人により違いがあり、
自分の尺度で測ってはならないことに気付かされた。
大変だと思ったことは、自分のちょっとした配慮や言
葉、気付きでその人の生活環境に大きな変化が生じ
て、責任が重いと感ずることである。

（北部地区 一期目）